

「フォト」アプリを利用することで、写真を使ったビデオを簡単に作成することができる

お気に入りの写真を選べば、枚数に合わせて BGM を自動的に設定してくれる上、写真の表示効果なども自動的に適用されるので、面倒な設定などは必要はなし

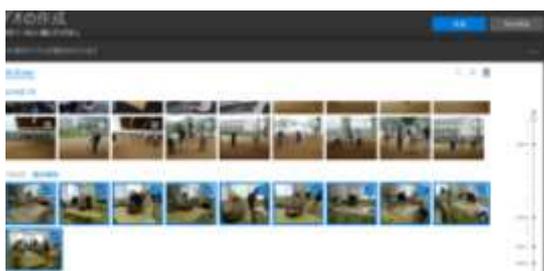
「フォト」を起動して「作成」をクリック



「ビデオの自動生成」をクリック

ビデオにしたい写真を選んで [追加] をクリック。写真の右上にチェックがはいる

[ビデオの作成] をクリック



ビデオの名前を書き込み「OK」をクリック



ビデオが作成され、自動的に再生される。BGM や効果が気に入らない場合、「自動リミックス」ボタンをクリックすることで、自動的に変更される。



この状態を保存する場合「エクスポートまたは共有」をクリック

完成したら右下の「ビデオの編集」をクリックし、編集画面に進む

❖ビデオの編集

ビデオの編集をクリック

ビデオの画面の上側に、BGM・カスタムオーディオの項目が表示される

ストーリーボードの右にいろいろな項目が用意してある。使い方【フォトアプリの編集機能】とほぼ同じ



ビデオ画面の上の音楽（BGM）をクリックすると、音楽が変更できる

プロジェクトライブラリーで写真をクリックすると、「ストリートボードに配置・削除」が表示される。

削除すると、ストリートボードからも削除される。

ストリートボードの「テキスト」をクリックするとタイトルや写真などにつける説明文を入れるための画面が開く



既に設定されているタイトルを変更

「音楽入り自動ビデオ」では、ビデオプロジェクトの名前を自動的にタイトルを挿入してくれる

タイトルを変更する場合、上記同様に「テキスト」をクリック。プロジェクト名とは別のタイトルを

入力する。同時にテキストスタイル・レイアウトも変更が可能。写真一枚一枚にタイトルがつけられる。

写真と写真の間にテキストを挿入

写真の素材の上に入力するのではなく、「テキスト」だけのタイトルを作ることができる。追加したい

場所のすぐ手前の写真をクリックし、「+タイトルカードの追加」をクリック（右クリックでポップアップメニューをだし「+タイトルカードの追加」をクリック）

ないもない写真が挿入された、この写真を選択した状態でストーリーボードのメニューの「テキスト」をクリック、そしてタイトルを入力し、テキストスタイルとレイアウトを選ぶ

上の「背景」を選択すると種々変更できる



「フィルター」設定で色味を変えたり各種効果を設定

ストーリーボードのメニューの「フィルター」をクリック

14種類が用意されている

「モーション」設定で写真スライドの際のアニメーション効果を設定

ストリートボードのメニューの「モーション」をクリック

11種類が用意されている。「拡大・中央へ」とか、「写真の核となる部分がどこなのかによって選ぶ

写真素材の再生時間を変更

写真を選択した状態で、ストリートボードのメニューの「期間（時計のようなマーク）」をクリック
（写真の左下に「1,8」など数字が書かれていますので、そこをクリックして「期間」を選ぶ）
音楽との関係上あまり長くはできない



サイズ変更

クリックすると、「黒いバーの削除・縮小して全体を表示」が表示される
下図の右は、黒いバーの削除したもの



⑤ ファイルに書き出す

右上の「ビデオの完了」をクリック

